

2018年7月17日（火）

## 「Microsoft Mixed Reality パートナー」認定を取得

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）は「Microsoft Mixed Reality パートナー」に認定されました。

Mixed Reality パートナープログラムは、パートナー企業がマイクロソフトの HoloLens や Windows Mixed Reality 対応デバイスを用いたソリューション提供や実証実験を行うにあたり、日本マイクロソフトおよびマイクロソフト・コーポレーションがトレーニングや技術情報をパートナー企業に提供し、その開発スキル等を評価し、ビジネス展開に向けたパートナーとして認定するプログラムです。

協和エクシオは、情報通信エンジニアリングを主力事業とした企業です。事業を推進する上では「安全・品質の確保」を最重要課題として、日々作業手順や確認手順など安全基本行動を徹底させるとともに、技術および品質の向上、維持のための技術者育成・施工技術の習得に取り組んでいます。そして、過去出場した技能五輪国際大会では培った技術力を発揮し、5つの金メダルを獲得しました。

今回、その情報通信エンジニアリングにおける技術と、新たな Mixed Reality (HoloLens) 技術を融合させ、実証実験を通して配線工事や作業手順のトレーニング教材の開発を行いました。

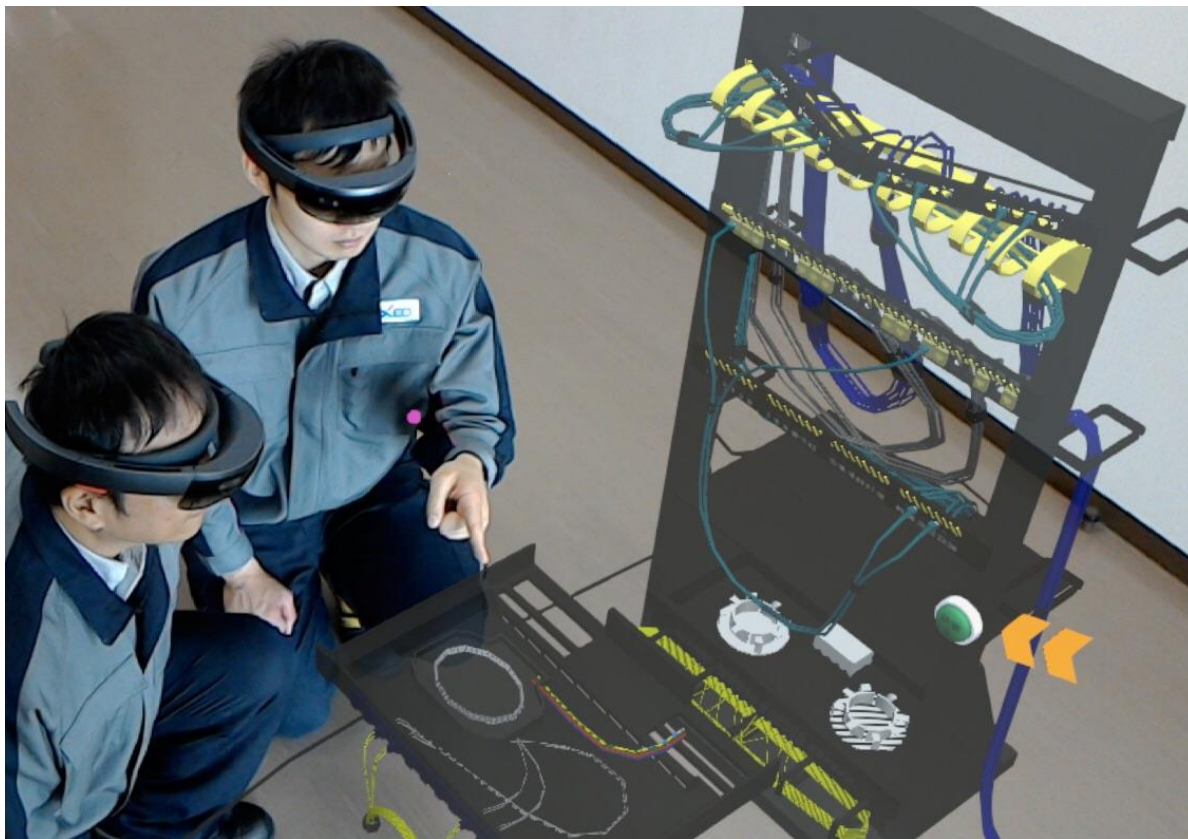
IoT、ビッグデータ、AI などの新しい技術の導入が進む中において、情報通信基盤を支えるネットワークインフラや ICT システムの構築・維持の重要性が高まっております。ここでの実証内容は、このような環境変化にも対応した、経験者のノウハウを伝授したり、様々な作業手順・確認手順に適用するソリューションとして、展開が可能となります。

また、当社はお客様の経営課題解決に対して、ビジネスプロセスマネジメントを主軸としたソリューション提供、さらにはネットワークインフラ構築から ICT システム開発までを一貫し、ワンストップで提供しております。

今回の Mixed Reality パートナー認定により、このテクノロジーに関する知見を益々高め、お客様の課題解決に役立つソリューションに組み入れ、お客様のデジタルトランスフォーメーションによる働き方改革・ビジネス革新に貢献できるよう努めて参ります。

※「技能五輪国際大会」

大会の目的は、参加各国における職業訓練の振興と青年技能者の国際交流、親善を図ることにあります。現在、2年に1度（奇数年）開催されており、昨年（2017年）は、アラブ首長国連邦・アブダビで開催されました。



配線完成後のモデルを確認しながら、作業のポイントや手順を指導している事例

\*Microsoft HoloLens は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

\*その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

電話でのお問い合わせ先  
ビジネスソリューション事業本部 営業本部 ソリューションコンサルティング部門  
電話：03-5778-1416  
受付時間：平日 9:00～17:30